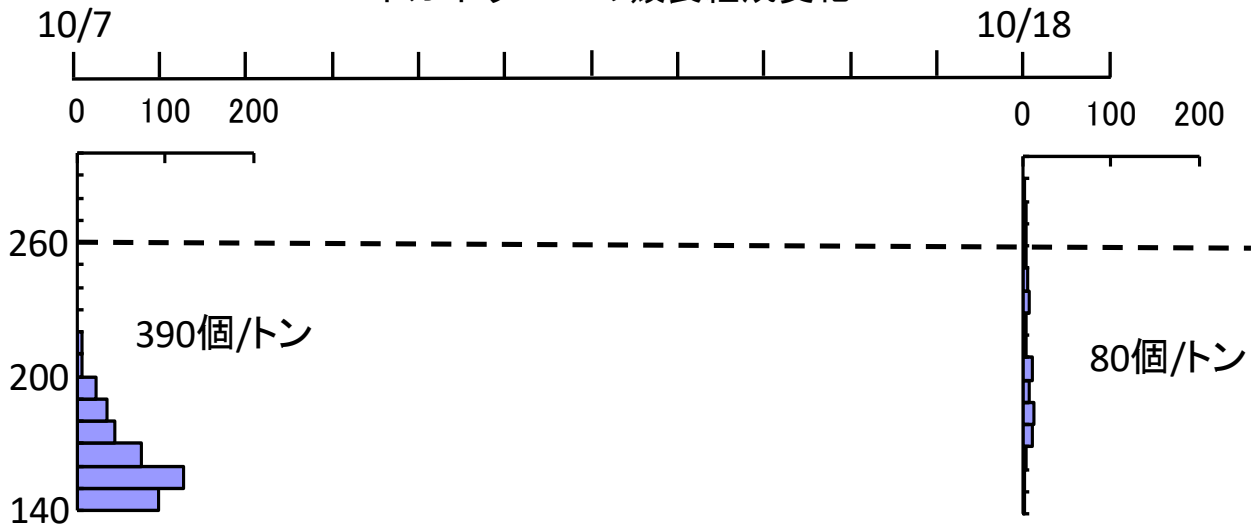


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

10月18日にサロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

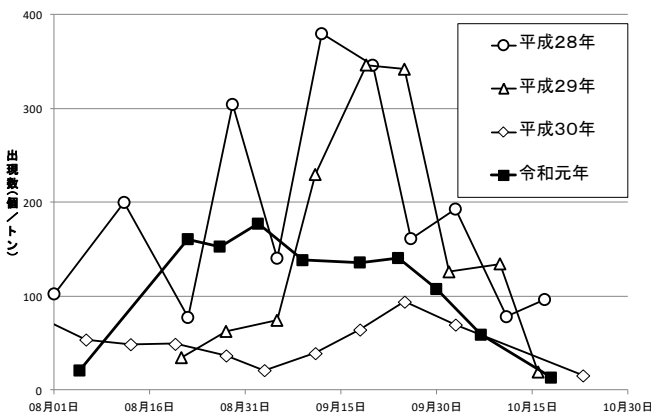
その結果、イガイ（シュリガイ）ラーバは170～210ミクロンを中心に平均で80個/トン出現しており、前回（390個/トン）よりも大幅に減少しました。付着サイズのラーバは9.4個/トン出現していました。

イガイラーバの殻長組成変化



ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは平均で13個/トン出現しており前回（59個/トン）よりも大幅に減少していました。

ホヤ類の出現状況



付着物ラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	0.0	0.0	0.0	1.4	0.4
150 ~ 160	0.0	0.0	7.3	1.4	2.2
160 ~ 170	4.4	2.8	3.7	4.2	3.8
170 ~ 180	17.7	14.0	3.7	8.4	10.9
180 ~ 190	0.0	2.8	32.9	12.6	12.1
190 ~ 200	0.0	8.4	14.6	7.0	7.5
200 ~ 210	0.0	5.6	32.9	5.6	11.0
210 ~ 220	0.0	0.0	7.3	7.0	3.6
220 ~ 230	0.0	2.8	7.3	7.0	4.3
230 ~ 240	0.0	2.8	21.9	2.8	6.9
240 ~ 250	0.0	2.8	14.6	1.4	4.7
250 ~ 260	4.4	2.8	7.3	0.0	3.6
260 ~ 270	0.0	2.8	11.0	0.0	3.4
270 ~ 280	8.8	2.8	3.7	0.0	3.8
280 ~ 290	4.4	2.8	0.0	1.4	2.2
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	39.8	53.2	167.9	60.2	80.3
200μ m以上	17.7	25.2	105.9	25.2	43.5
	44.4%	47.4%	63.0%	41.9%	54.2%
260μ m以上	13.3	8.4	14.6	1.4	9.4
	33.3%	15.8%	8.7%	2.3%	11.7%
ホヤ類	4.4	9.8	32.0	7.0	13.3

付着物ラーバ関連調査地点図

